

# WallFlex™ Colonic Stent

ウォールフレックス 大腸用ステント

\*[展開後近位マーカ]は、ステントが展開したときのステントのプロキシマル端のおおよその位置を示す目安です。

The diagram illustrates the components and deployment of the WallFlex Colonic Stent. The main components shown are the outer sheath marker (外筒マーカ), the deployment marker after expansion (展開後近位マーカ\*), the limit marker (限界マーカ), the proximal handle (近位側ハンドル), and the distal handle (遠位側ハンドル). The deployment steps are shown in three stages: 1. The stent is inserted into the colon. 2. The stent is expanded by pulling the proximal handle. 3. The stent is fully deployed and the proximal handle is released. The limit marker is used to ensure the stent is properly positioned and not over-expanded.

ステント展開

ステントの再収納は2回まで可能です。外筒マーカが限界マーカを超えるとステントの再収納は行えません。

## ウォールフレックス 大腸用ステント

カタログ番号	ステント			デリバリーシステム		適合ガイドワイヤ最大 (inches)
	外径 (mm) フレア部外径	ボディ部外径	ステント長 (mm)	カテーテル外径 (F)	有効長 (cm)	
6504	30	25	60	10	230	0.035
6505	30	25	90	10	230	0.035
6506	30	25	120	10	230	0.035
6510	27	22	60	10	230	0.035
6511	27	22	90	10	230	0.035
6512	27	22	120	10	230	0.035

※径表示換算目安：1mm=3French=0.0394inches

販売名：ウォールフレックス 大腸用ステント  
医療機器承認番号：22300BZX00308000  
販売名：ハイドラジャグワイヤー  
医療機器認証番号：220ABBZX00040000  
販売名：ジャグワイヤー  
医療機器認証番号：220ABBZX00192000

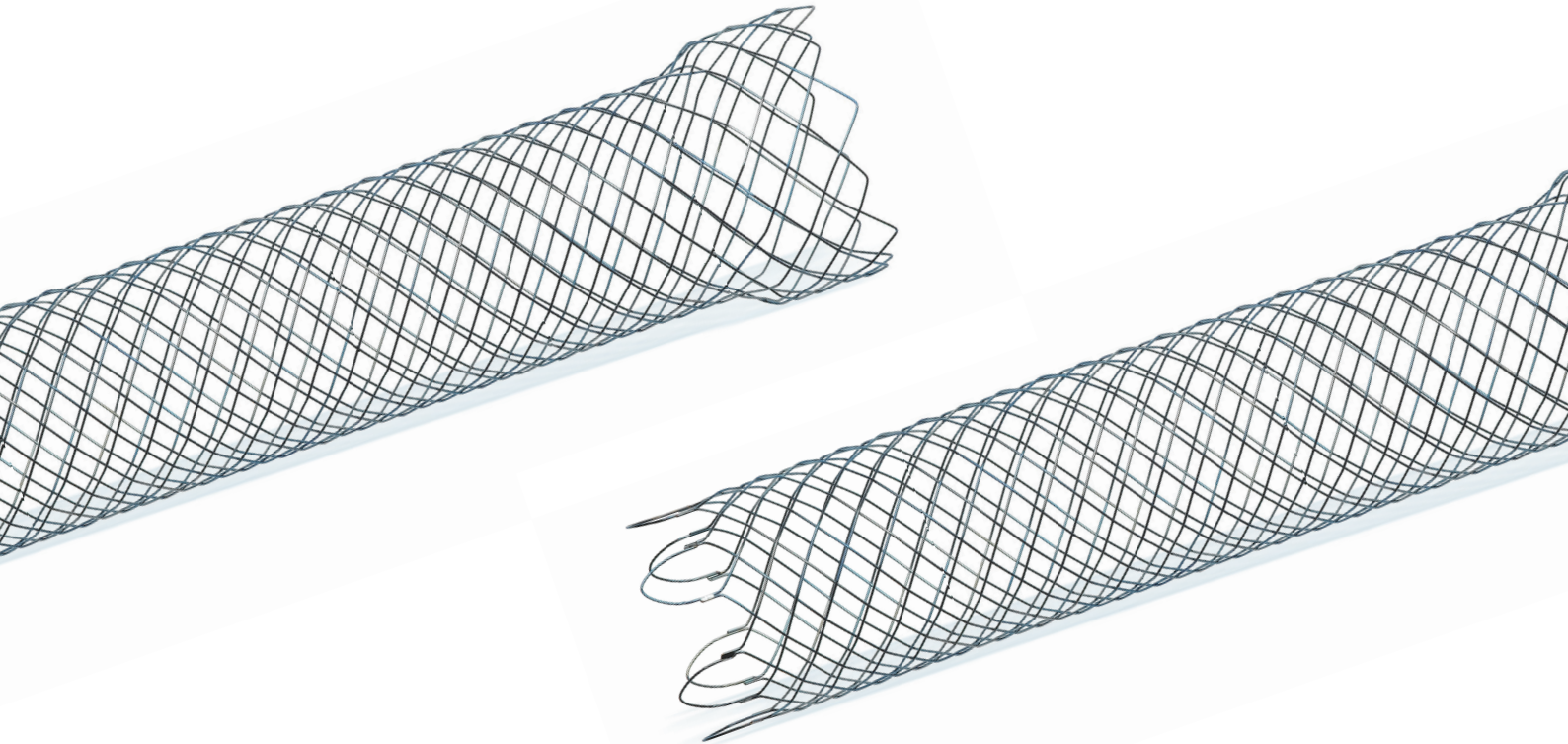
製品の詳細に関しては添付文書等でご確認いただくか、弊社営業担当へご確認ください。  
©2025 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.  
All trademarks are the property of their respective owners.



# WallFlex™ Colonic Stent

ウォールフレックス 大腸用ステント

緩和ケアと術前減圧治療の選択肢を提供する  
ウォールフレックス 大腸用ステント





緩和ケアと術前減圧治療の選択肢を提供する

# WallFlex™ Colonic Stent

WallFlex™ Colonic Stent は、  
悪性腫瘍による大腸閉塞に対するステントとして開発され、  
本邦で初めて薬事承認を取得した大腸用メタリックステントです。  
緩和治療と術前減圧治療を目的とした治療の選択を  
提供いたします。

WallFlex™ Stents  
Open to the  
Possibilities™.

ボストン・サイエンティフィックが目指すもの、それは医療の新たな可能性を追求することです。

WallFlex™は、消化管ステントに求められる「管腔の開存」「柔軟性」「コントロール性」のベストバランスを目指した製品群で、治療の選択肢を広げるために開発されたプラットフォームです。

胆道ステントから胃・十二指腸ステント、そして大腸ステントへ。WallFlex™のテクノロジーは、患者様のQOL向上のため、さらに進化を続けます。

## Palliative Care

人工肛門を伴う手術の代わりに狭窄を解除する緩和治療

- 低侵襲な手技で狭窄症状を改善できるため、患者様の身体的・精神的負担を軽減します。
- 腸管の機能を維持することで食事摂取と自力排便を促し、患者様のQOL向上に貢献します。

## Bridge to Surgery

緊急手術を回避して待機的手術を行うための術前留置

- イレウス症状を解除し、一期的手術を選択できる可能性を高めます。
- 緊急手術と比べて人工肛門を一時的に造設する必要性を低減します。

## WallFlex™ Technology

- TTS (Through-The-Scope) または OTW (Over-The-Wire) に対応する10Fのデリバリーシステムは、高度に屈曲した解剖においても高いアクセス性と通過性を実現します。
- ナイチノール素材のブレイデッド（編み込み）ステントは、柔軟性と拡張力をバランス良く発揮するようデザインされています。
- ステント口側のフレア形状はステントの脱落を防ぎ、肛門側のループエンドは腸管への刺激を低減します。